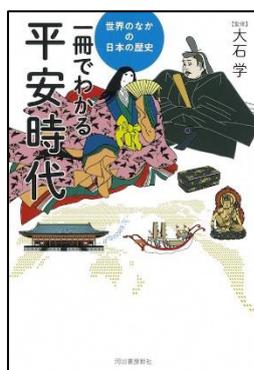




松 NAVI!



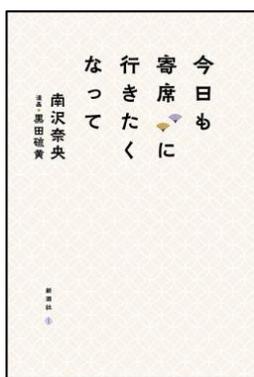
新着図書のご案内



『一冊でわかる 平安時代』

大石 学／監修
河出書房新社（210.3イツサ）

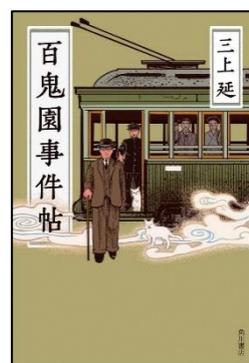
摂関政治・院政・平氏政権などの特質を、図やイラストを交えて解説している。コラム「そのころ世界では？」は、同時代の世界の出来事が挙げられ、日本と対比できることは興味深い。平安時代を知るためのオススメの一冊！



『今日も寄席に 行きたくなって』

南沢 奈央／著 黒田 硫黄／漫画
新潮社（779ミナミ）

「落語＝笑点」だった南沢さんは、噺家が主人公の小説を読んだのをきっかけに落語に魅せられ、噺家として高座に上がるまでになった。「怪談牡丹灯籠」を見た時の感動や、「既火事」を演じた時の喜び。高座名・南亭市にやおの、初心者も楽しめる落語愛に溢れた一冊。



『百鬼園事件帖』

三上 延／著
KADOKAWA（Fミカミ）

影の薄さに悩む大学生・甘木はふとしたことから大学教授で作家の内田百閒と知り合う。ふたりは行動を共にするうちに不気味な事件の数々に直面する。平凡学生と偏屈教授のコンビが怪奇と謎に立ち向かう連作短編集。

科学がつきとめた「運のいい人」 中野 信子／著 サンマーク出版（159ナカノ）	質問の一流、二流、三流 桐生 稔／著 明日香出版社（336キリユ）
犬が看取り、猫がおくる、しあわせのホーム 石黒 謙吾／著 光文社（369イシグ）	便秘の8割はおしりで事件が起きている！ 佐々木 みのり／著 日東書院本社（493ササキ）
住まいかた解剖図鑑 センス光る暮らしの秘訣がマルわかり 大島 健二／絵と文 エクスナレッジ（527オオシ）	人間標本 湊 かなえ／著 KADOKAWA（Fミナト）

こう しらんしょう ものごとの は(じまり) は(じまり) —
嚙矢濫觴 ~ 辞典 ~

意味のわからない語句や読めない漢字に直面した時、私たちは辞典を用いることが多くあります。では、辞典とは、いつごろ、誰によって編纂されたのでしょうか？ その起源をたずねてみましょう。

日本で最初に編纂された辞典が、天武11年(681)の『新名』全44巻(消失)です。その後の編纂として、天長7年(830)頃に弘法大師空海が『篆隸万象名義』全30巻(現存最古)、昌泰元年(898)より僧昌住が『新撰字鏡』(現存最古の漢和辞典)、承平4年(934)頃には源順が『和名類聚抄』等があります。

江戸時代には、谷川土清が「五十音順」に配列された国語辞典を初めて編纂し、現在の辞典類の基礎を築きました。明治時代を迎えると、明治24年(1891)に国語学者の大槻文彦が『言海』を完成させましたが、編纂作業は後進に引き継がれ、昭和12年(1937)に『大言海』として完結しています。『言海』が公となったことで、地名・人名など種々のジャンルでの辞典ブームが起こりました。

そして現在では、諸橋轍次を代表として編纂された『大漢和辞典』(大修館書店)があります。数十年の歳月を経て完成し、親文字5万余字、熟語53万余語を収録する世界最大の漢和辞典です。また『日本国語大辞典』(小学館)は、日本最大で唯一の大型国語辞典であり、50万語以上が収録されています。

電子辞書が主流の現代だからこそ、先人の偉業に思いを馳せつつ、紙の辞典をめくってみてはいかがでしょうか。きっと、新しい「なにか」が得られることでしょう。

[参考文献] 『まるごとわかる「日本人」はじめて百科 3』 湯本 豪一／監修 日本図書センター(B 03 マルゴ3)
『日本人の知らない日本一の国語辞典』 松井 栄一／著 小学館 (813 マツイ)
『大漢和辞典』の百年』 池澤 正晃／著 大修館書店 (813 イケサ)

電子図書館の ごあんない



「福島市電子図書館」で、
電子書籍の貸出ができます！

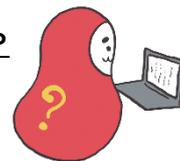
パソコン・タブレット・スマートフォンで、電子書籍が読めます。

★利用できるかた★

福島市内に在住・在勤・在学の方
※市外在住で福島市在勤・在学の方は
図書館カウンターで手続きが必要です。

★利用に必要なもの★

- ・図書貸出券(利用期限内のもの)
 - ・パスワード(インターネットサービスと共通)
- ※パスワードの発行方法は、ホームページをご覧ください。



松川学習センター図書室広報

松NAVI! 第9号 2024年3月1日発行

編集・発行：松川学習センター図書室 〒960-1241 福島市松川町字杉内33 TEL 567-2403